

# 工業会活動

## 令和4年航空機生産額は前年比1,574億円の増額

経済産業省が2月14日に公表した生産動態統計（年計確報値）に基づき、令和4年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比1,574億円（13.6%）増の1兆3,165億円となった。平成25年から急増した生産額は、令和元年に1兆8,569億円となった後、令和2～3年は大きく下落したが、令和4年は増勢に転じたことが確認された。防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比610億円減の4,512億円、民間向けが2,184億円増の8,653億円となっている。

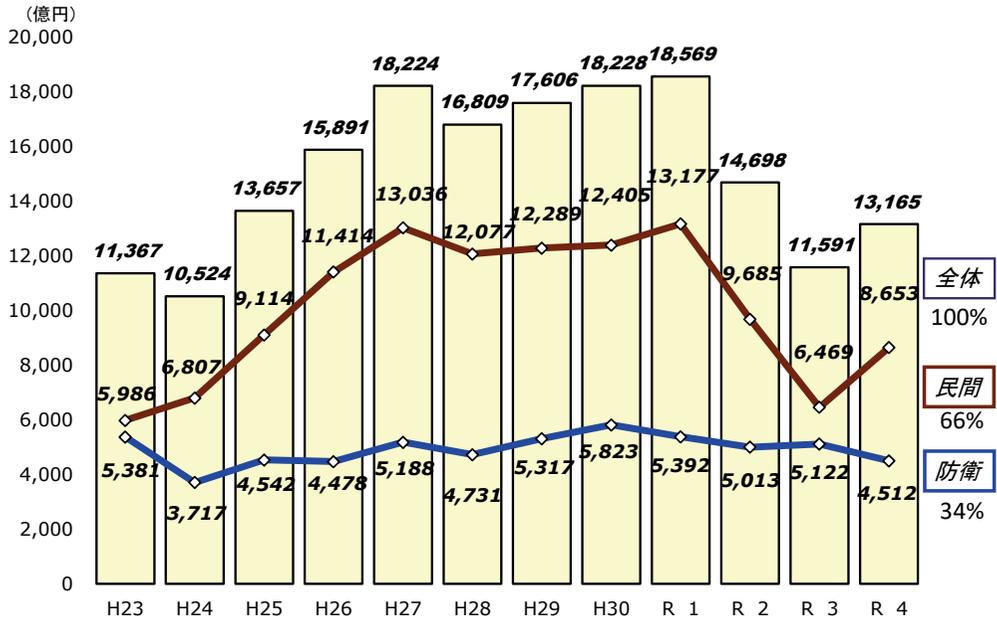
品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体製造及び機体部品ともに減少し昨年実績を577億円下回る2,963億円、民間向けが主力のボーイング787の生産回復等により昨年実績を334億円上回る2,812億円となったが、機体全体では前年より244億円（4.1%）減の5,775億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが31億円の増、民間向けが1,796億円の増となり、エンジン全体では前年より1,827億円（40.6%）増の6,327億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛向けが63億円減、民間向けが54億円増となり、前年とほぼ同じレベルの1,062億円となった。

また、全体額の防需と民需の比率は34%対66%と民需が前年より増加した。平成24年以降、民間航空機でボーイング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大（民需比率のピークは平成28年の72%）したのち、令和2年以降は新型コロナウイルスの影響による航空機需要減少に伴い民需比率が減少していたが、再び増大する結果となった。

なお、令和3年の品目別防需比率は、機体関連51%、エンジン関連12%、その他機器75%となっている。

上記のように令和4年の我が国の航空機生産は、減少傾向に歯止めがかかり増大傾向に転じた。今後については、防衛向けでは令和4年12月に公表された防衛力整備計画で示された固定翼機や回転翼機等調達に伴う安定的生産や次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けでは、エンジン関連は単胴機を中心とした需要回復により部品生産が回復基調にある。一方で機体関連では、ボーイング777は新型コロナウイルスの影響による航空機需要減により減産を継続中で、ボーイング777Xは在庫の調整等のために初号機納入を令和7年に延期する旨が公表され、また、ボーイング787については昨年8月に品質問題が解決し納入が再開されたものの、在庫やサプライチェーン回復の動向を注視しながら緩やかな増産が進められている。こうした状況を踏まえると、令和5年以降の航空機生産の動向は引き続き楽観できない状況が想定される。

### 航空機／国内生産額推移



### 令和3年と令和4年の区分別比較

(単位:億円)

区分	R3年確定値(R4.6月)			R4年確報年計値(R5.2月)			差(R4年-R3年)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	1,372	31	1,403	893	56	949	△479	25	△454
		部品	991	2,192	3,183	955	2,518	3,473	△36	326	290
		小計	2,363	2,223	4,586	1,848	2,574	4,422	△515	351	△164
	エンジン	本体	72	4	77	94	1	94	21	△3	18
		部品	426	3,515	3,941	405	5,139	5,544	△22	1,624	1,603
		小計	499	3,519	4,018	498	5,140	5,639	△1	1,621	1,621
	その他機器	703	191	894	637	249	886	△66	58	△8	
合計	3,565	5,934	9,498	2,983	7,963	10,946	△582	2,030	1,448		
修理	機体	本体	728	132	860	660	145	805	△68	12	△55
		部品	450	122	573	455	94	549	5	△28	△23
		小計	1,178	255	1,432	1,115	239	1,354	△62	△16	△79
	エンジン	本体	191	243	434	215	420	635	24	178	201
		部品	36	13	49	43	10	54	7	△3	5
		小計	227	256	482	258	431	689	31	175	206
	その他機器	152	24	177	156	21	176	3	△4	△1	
合計	1,557	535	2,092	1,529	690	2,219	△28	155	127		
全体	機体	本体	2,100	163	2,263	1,553	200	1,753	△547	37	△510
		部品	1,441	2,315	3,756	1,411	2,612	4,022	△30	297	267
		小計	3,541 (59%)	2,478 (41%)	6,018 (100%)	2,963 (51%)	2,812 (49%)	5,775 (100%)	△577	334	△244
	エンジン	本体	263	247	510	308	421	729	45	174	219
		部品	462	3,528	3,990	448	5,150	5,598	△14	1,622	1,608
		小計	726 (16%)	3,775 (84%)	4,500 (100%)	756 (12%)	5,571 (88%)	6,327 (100%)	31	1,796	1,827
	その他機器	855 (80%)	216 (20%)	1,071 (100%)	792 (75%)	270 (25%)	1,062 (100%)	△63	54	△9	
	合計	5,122 (44%)	6,469 (56%)	11,591 (100%)	4,512 (34%)	8,653 (66%)	13,165 (100%)	△610	2,184	1,574	

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

(出典:経済産業省 生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部部长 杉原 康二〕